

2014年環境活動報告

(2013年4月～2014年3月)

環境対策・取り組み

◆地球温暖化防止自主行動計画の見直し

パルシステム山梨では2009年8月に地球温暖化防止自主行動計画を策定し、二酸化炭素排出量の総量削減に向けた取り組みを進めてきました。2012年度中期削減目標年を終え、計画の検証を行い、2013年10月に対象・電気の換算係数を含めた見直しを行いました。

- ①常に、前年度よりも温室効果ガス(CO₂)の総量削減を目指し、排出数値管理や運用取り組みを行います。
- ②パルシステムグループの一員として、温暖化防止自主行動計画(S-17)に参加し、グループ全体で目標達成に取り組みます。
*目標:2020年までに、2005年比で17%削減(26,948t-CO₂)
- ③地域性・独自性などの特色ある取り組みにより、地域・組合員またパルシステムグループ、社会全体での温暖化防止・環境取り組みの推進に貢献していきます。

2013年度の取り組み結果は以下のようになりました。

二酸化炭素排出量(電気・燃料・施設ガス・灯油)	634,090kg-CO ₂
グリーン電力証書によるCO ₂ 削減量	△8,460kg-CO ₂
自主取り組みによるCO ₂ 削減量	△829kg-CO ₂
合計	624,801kg-CO ₂

※電気のCO₂換算には係数0.423を使用

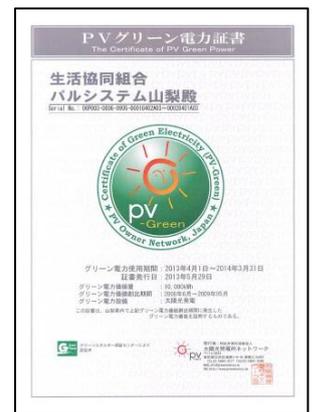
2013年度の二酸化炭素排出量は前年比121.1%と増加しました。バイオディーゼル燃料事業の終了に伴う、配送車両の全面的な軽油使用への切り替えが主な増加要因です。

削減取り組みでは、昨年に引き続きグリーン電力証書購入、自主取り組み(エコ通勤)削減を行いました。

◆グリーン電力証書購入

事業所における温室効果ガス(CO₂)の総量削減に向けた取り組みとして、グリーン電力証書を昨年に引き続き、本部と富士五湖センターの2事業所で20,000kWh購入しました。全事業所の2013年度の電気使用量に対して約5.1%に相当する電力のグリーン化(=CO₂排出削減)につながりました。

また地産地消のエネルギーの活用を基本に、山梨県内で発電されている太陽光、都留市の小水力による発電を指定購入することで、県内でグリーン電力証書に参加する方々を支援しています。



グリーン電力証書

◆エコ通勤

化石燃料消費に大きく関わる自動車交通の抑制、地球温暖化防止への貢献、周辺地域の渋滞緩和、健康増進などを目的とし、自転車・徒歩通勤の奨励制度として2008年より開始しました。事業所から往復10km以内の職員・定時職員を中心に実践しています。

2013年度の結果

参加者	延べ9名
ガソリン削減量	357.3リットル
二酸化炭素削減量	829kg-CO ₂

※ガソリン1リットルの燃費を9kmとし、CO₂換算係数は2.32kg-CO₂(日本生協連合会自主行動計画ガソリン係数)を使用。

◆2013 年度環境目標結果

項目	電気 (kWh)	燃料 (kg-CO2)	利用率 (%)	コピーカウント (枚)	来店者 (人数)	洗濯用液体 石けん(本)	紙パック回収率 (%)
取り組み	通年	通年	通年	通年	通年	6月	6・7月
対象	センター	センター	センター	本部	ぱるはび	センター	センター
目標	329,058	483,990	82.3	423,792	3,752	380	98.8
実績	363,579	457,679	81.9	376,646	3,455	689	83.5
達成率	90.5%	105.7%	99.5%	112.5%	92.1%	181.3%	84.6%
達成状況	△	○	△	○	△	○	×

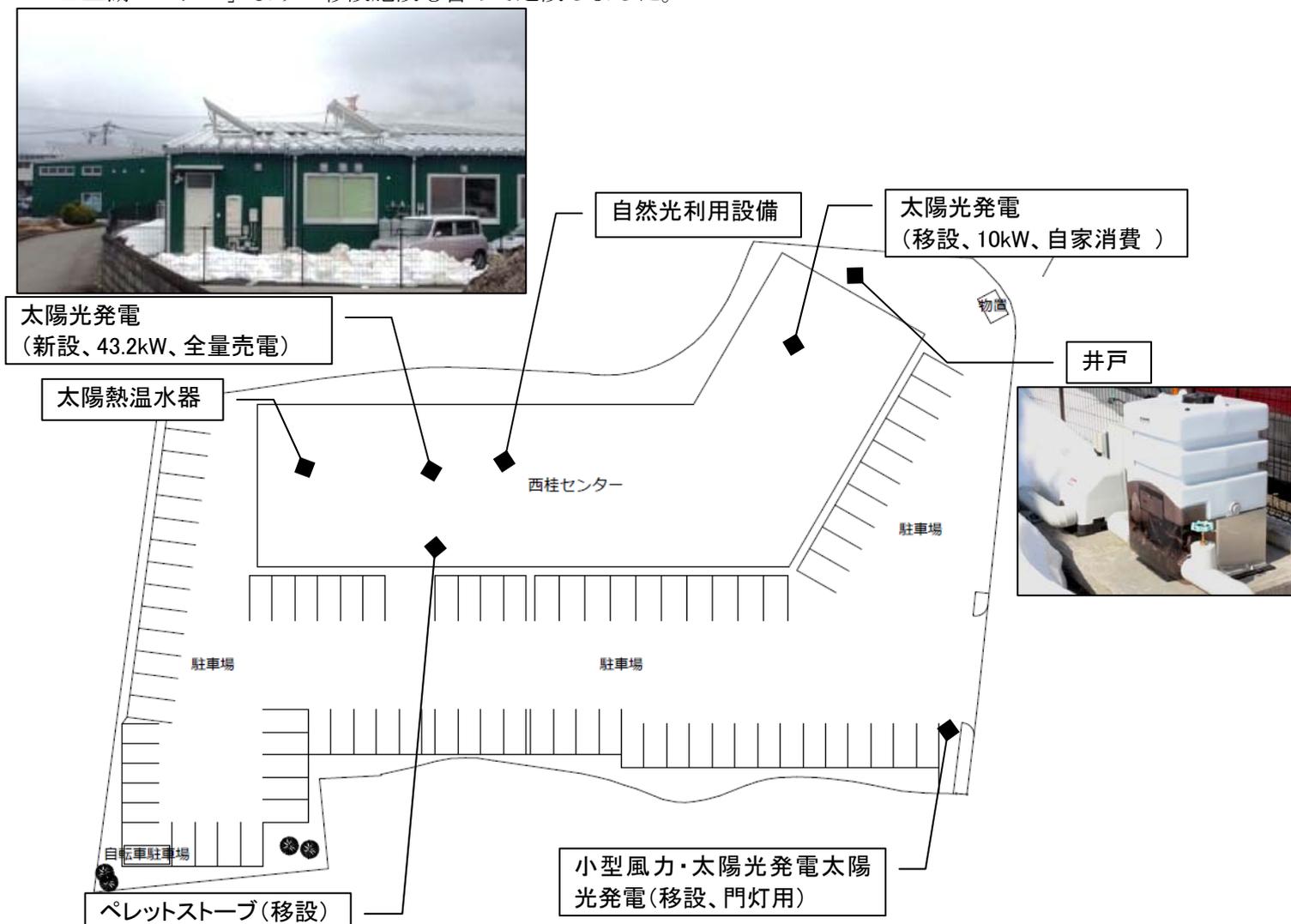
※達成状況（「○」は達成率100%以上、「△」は達成率90%以上100%未満）

電気は主に冷蔵・冷凍庫の温度設定見直しにより、通年で増加しました。また2014年2月の大雪の影響もあり、組合員利用率および「ぱるはび」来店者数は苦戦しました。燃料はエコドライブ等取り組みで、増加幅が抑えられました。また組合員さんへ環境配慮商品の良さをお伝えする取り組みとして、リニューアルした洗濯用液体石けんのおすすめ、リサイクル率向上のために紙パック回収呼びかけにも取り組みました。

なお、環境マネジメント面で、自主的な継続改善運用の定着、パルシステムグループでの相互環境監査、情報共有の取り組み等の状況を受け、2001年より取得・運用してきましたISO14001認証は、2013年度をもって解除しました。引き続き、より実際の事業活動内容に即した、環境マネジメントを進めます。

◆「西桂センター」の稼働

「富士五湖センター」は建設より20年を経て、手狭でもあったことから、新たに、「西桂センター」を建設し、2014年3月より、移転・稼働しました。1999年より進めているエコオフィス取り組みを踏まえ、「富士五湖センター」よりの移設施設も含めて建設しました。



他にもいろいろな点を配慮しました。

- ・トイレ洗浄用に利用するため、雨水を貯めるタンクを設置しました。
- ・ガス給湯器も廃熱利用をする高効率な機種を採用しています。
- ・施設の一部（調理室や通路の床など）に県産材を使用しています。
- ・事務所内や倉庫内はLED照明です。また人感センサー照明も各所に取り入れています。
- ・事務所・会議室・保育室等はペア（複層）ガラスで防寒対策を施しています。
- ・冷凍冷蔵庫はインバータータイプの省エネ性能に優れた機種になっています。



県産材使用の床（認証シール添付）

◆2013年度 太陽光発電実績

総発電量は 34,319kWh でした。

自家消費分では、二酸化炭素を 12,395kg-CO₂ 削減でき、設置している 4 事業所の年間総使用電力の約 7.1% を太陽光でまかなっている計算となります。

	本部	甲府C	一宮C	富士五湖C	西桂C	合計
公称最大出力 (kw)	3.19	10	3	10	42.3	68.49
発電量 (kWh)	2,972	12,345	4,216	9,770	5,016	34,319
売電量 (kWh)	232	—	—	—	5,016	5,248
CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	1,257	5,222	1,783	4,133	(2,122)	12,395

※電気の CO₂ 換算には係数 0.423 を使用しました。

※富士五湖 C の 10kW は西桂センターに移設し、自家消費使用しますが、13 年度はまだデータが出ていません。

◆緑のカーテン

緑のカーテンは、つる性植物を育て、窓辺や壁面を覆うことにより、日差しを遮ったり、葉の気孔からの水分蒸散によって暑さを和らげてくれます。また室温の上昇も抑えることができます。

2013 年度も、本部事務所と 3 つの配送センターで取り組みました。

◆環境社会検定試験（eco 検定）受験

パルシステム山梨では、幅広い環境の基本的知識を身につけるべく、積極的に、環境社会検定試験（eco 検定）の受験・資格取得を推奨しています。現在 31 名の職員がエコ・ピープルとなっています（職員の 54.4%）。

◆小型 EV（電気自動車）を導入

業務使用車両の排出 CO₂ 削減、またエネルギー源の変更などに実験的にチャレンジしていくため、超小型 EV（電気自動車）を導入しました。

今回は 1 人乗りの小型電気自動車を甲府センターの業務に使用する車両として 1 台導入し、甲府市周辺での営業や事務活動などへ使用します。これまで使用していた軽車両に対して、試算では年間で約 1 トンの CO₂ 削減を見込んでいます。



甲府 C 導入の小型電気自動車

◆廃食油回収と菜の花プロジェクト

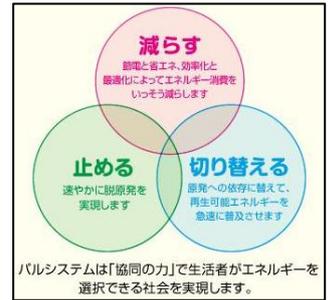
バイオディーゼル燃料事業は 2013 年 3 月末で終了しましたが、引き続き、組合員さんからの廃食油回収（県内 NPO 法人に提供）、および市民団体との活動として、「バイオディーゼルネットワークやまなし」「まちなかに油田をつくろう会」に参画し、廃食油回収キャラバンや菜の花栽培などを行っています。

*2013 年度組合員さんからの廃食油回収量：5,625 リットル

エネルギー政策推進に関する取り組み

パルシステムグループでは東日本大震災に伴い発生した、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、2012年1月「パルシステムのエネルギー政策」を定め、グループ全体で取り組みを進めています。

- ・「減らす」節電と省エネ、効率化と最適化によってエネルギー消費をいっそう減らします。
 - ・「止める」速やかに脱原発を実現します。
 - ・「切り替える」原発への依存に替えて、再生可能エネルギーを急速に普及させます。
- パルシステムは「協同の力」で生活者がエネルギーを選択できる社会を実現します。



エネルギー政策イメージ

◆「エネルギー基本計画」に関するパブリックコメント提出

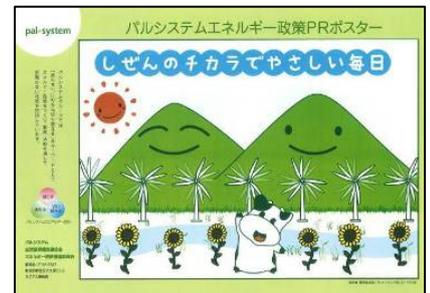
2013年12月に、「エネルギー基本計画に対する意見」についてのパブリックコメント募集に対し、意見提出を行いました。

◆「うちエコ診断」

2012年度に引き続き、環境省の試行実施事業としてグループの取り組みが採択されました。山梨でも診断員2名を養成し、役職員・組合員さん22名を診断、家庭ごとの省エネ取り組みについて理解を深めました。

◆エネルギー政策の広報

エネルギー政策を周知するためのポスター募集をグループ全体で行いました。山梨からの応募作品については、イベント等で掲示しました。



◆映画「シェーナウの想い」上映

2013年8月には、役職員対象の学習会として、ドイツでの「市民の市民による市民のための」電力供給会社を誕生させるまでの軌跡をつづったドキュメンタリー映画「シェーナウの想い」を視聴しました。また環境委員会では、組合員向けに同9月に県内2ヵ所で上映会を、太陽光・太陽熱の学習会と合わせて、開催しました。

◆木質バイオマス関連

一宮・西桂の2センターで引き続きペレットストーブを使用。2013年12月にはやまなし木質バイオマス協議会に加入しました。環境委員会では、協議会と連携したイベントを2014年3月に実施しました。

◆センターでのイベント

富士五湖センターや一宮センターでは飯ごう炊飯などでエネルギーについて考えるイベントを開催し、多くの親子参加をいただきました。

その他の組合員活動、パルシステムグループと連益した活動

◆「森の産直」。南都留森林組合と森林分野での産直協定締結

パルシステム連合会では、日本の森林資源を保全し、持続可能な森づくりに貢献していくことなどを目的とした、2012年制定の「森林・林業方針」に基づき、林業における産直の可能性追求、提携産地の検討を進めてきました。

2014年1月、山梨県都留市の南都留森林組合とパルシステム連合会で産直協定を締結、南都留森林組合事務所にて調印式を開催しました。今後、積み木と消臭効果のある炭を加工した置物の2種類の新商品が発売される予定で、人と商品の交流を進める「森の産直」に挑戦していきます。



積み木おもちゃと炭商品

◆エコドライブ運動

1998年より、環境にやさしい運転を心がける運動に取り組んでいます。積み下ろしや駐停車時のエンジンオフ、キーチェーンの徹底、アイドリングストップに加え、「ふんわり発進」や「早めのブレーキ」など、燃費に加え安全運転にもつながる運動として取り組んでいます。

◆環境こどもまつり

2013年7月、6回目となる「環境こどもまつり」を開催しました。県内の環境団体などに呼びかけ、牛乳パック工作、端材の木工作や県産積み木、エコバック作り、エコクッキング、人力発電機体験、ペットボトル工作、古新聞古雑誌の回収…etc、たくさんのコーナーがブースを並べ、舞台では劇団ぱるぱるやサイエンスショーも繰り広げられ、400名を超える親子に来場いただきました。



「環境こどもまつり」の様子

◆環境委員会

2013年6月、紙パッキリサイクルの学習として、「箱なしテッシュ」へ商品化している県内の製紙工場見学を行いました。紙パッキリサイクルの循環を身近に関し、通信やイベント等で広くお伝えしました。

◆田んぼの生き物観察～五町田エコロじい田んぼ塾

9家族が参加し、年間を通じてお米作りを体験しました。できたお米は産直米としてご自宅にお届けしています。田んぼ作業以外に6月～8月には田んぼの生き物観察等を行い、親子で生態系やその恵みについて理解を深めています。



田んぼ塾での「生き物観察」

◆職員学習会等

各センターで「石けん」学習会や、富士山のゴミ拾い活動などを行いました。

◆出前講座

パルシステム山梨では、「自然派！おそうじ」「手漉きハガキ」「廃食油リサイクル」など環境関連の出前講座を行っています。2013年度は28回の開催となりました。

諸団体と連携した取り組み

◆山梨県生協連

構成団体として活動し、2013年12月に自然観察会「愛宕山で冬のお宝発見」などを開催しました。

◆環境パートナーシップやまなし

「エコライフお絵かきコンテスト2013」に、パルシステム山梨も賞を3点設け、表彰式に参加しました。

◆エコライフ県民運動へ参加

山梨県が進めるエコライフ県民運動の主旨に賛同し、各センターを「リユースびん」、フェアトレードショップぱるはぴを「リユースびん」「マイバック」の推進店として登録しています。

◆やまなしエコネットワーク

引き続き事務局を担い、環境市民オンブズマン活動・環境セミナーなどの取り組みに協力しました。

◆第15回ライトダウン甲府バレー2013 実行委員会

2013年11月に実施されました。実行委員会に参加し、消灯呼びかけやプレイベントの実施に協力しました。

◆広がれ！小瀬エコスタジアムプロジェクト実行委員会

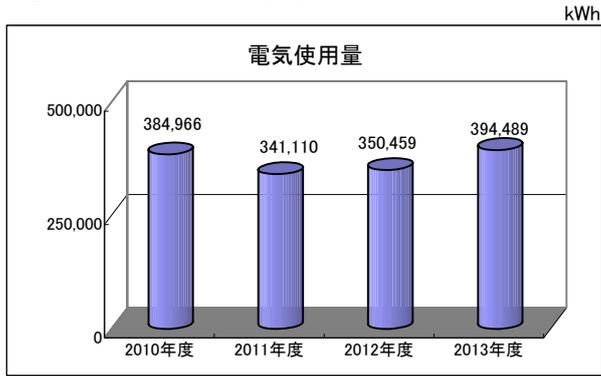
甲府市小瀬のスタジアムを“環境山梨”のシンボルに、と活動を行っています。パルシステム山梨も実行委員会に参加しています。

◆各種会議・イベントへの参加

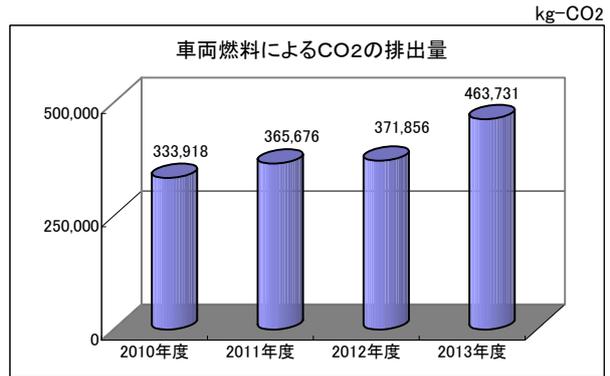
甲斐の国・地域資源活用コンソーシアム運営委員会、甲府市温暖化対策地域協議会、中央市温暖化対策地域協議会、やまなし木質バイオマス協議会等に参加しています。また甲府市環境リサイクルフェア、県民の日記念行事など環境イベントにも積極的に参加しました。

2013年度電気、車両燃料、ガス、水道の実績

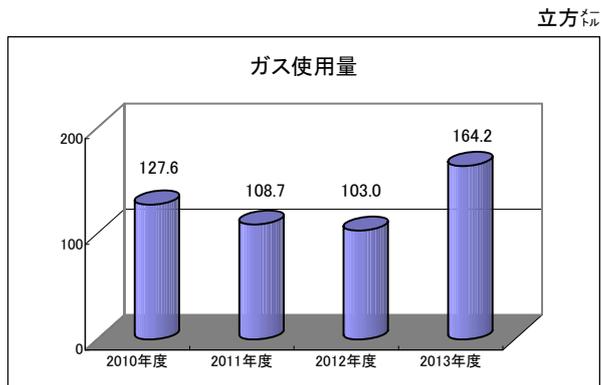
[電気、車両燃料、ガス、水道の実績]



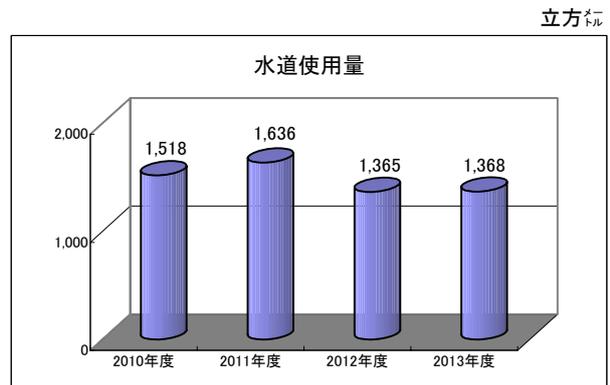
2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
384,966	341,110	350,459	394,489



2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
333,918	365,676	371,856	463,731

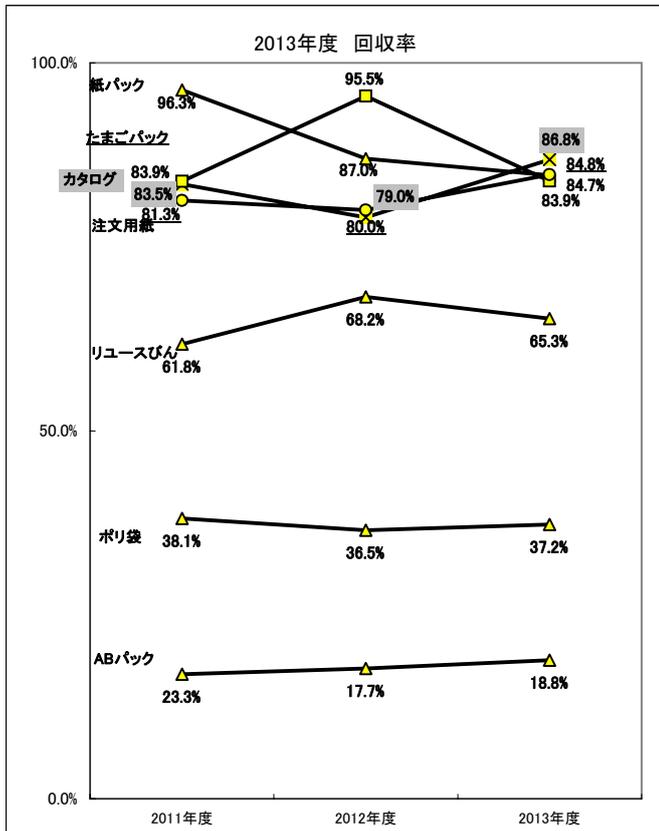


2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
127.6	108.7	103.0	164.2



2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
1,518	1,636	1,365	1,368

2013年度リユース・リサイクルの回収実績



2013年度回収率

	2011年度	2012年度	2013年度
リユースびん	61.8%	68.2%	65.3%
紙(牛乳)パック	96.3%	87.0%	84.7%
ABパック※	16.9%	17.7%	18.8%
商品案内(カタログ)	83.5%	79.0%	86.8%
注文用紙	83.9%	95.5%	83.9%
ポリ袋	38.1%	36.5%	37.2%
たまごパック	81.3%	80.0%	84.8%

※10年7月より、ヨーグルト容器(3種)含む

※リユースびん回収率には独自商品「豆トラ醤油」のびんを含んでいます。

リユース・リサイクルにおける行政費用の削減効果(推計)

	kg	円
リユースびん	25,726	1,079,639
紙(牛乳)パック	18,988	796,862
ABパック	3,099	130,055
カタログ	602,636	25,290,589
注文用紙	10,593	444,552
ポリ袋	13,002	545,650
たまごパック	18,494	776,130
合計		29,063,477

パルシステム山梨で組合員さんから回収したリユース・リサイクル容器や包材の回収重量をあわせて、行政で一般廃棄物として処理した場合の費用を掲載しています。前年でリユース・リサイクルすることで、行政の一般廃棄物処理に係る費用(私たちの税金)のうち、2012年度は約2847万円を削減したことになります。

※ごみ処理用に対するごみ処理費用は、41.97円/kg
(参考資料:環境省「日本の廃棄物処理 平成24年度版」)

パルシステム山梨の環境方針

パルシステム山梨は、地球温暖化防止対策や資源循環型の取り組みを通して、持続可能な社会づくりの構築をめざします。

組合員への配送やサービスなどの事業活動や地域への社会貢献活動を通して、環境負荷の低減をはかります。

地域の人々と環境にやさしい街づくりをすすめるとともに、「環境のパルシステム山梨」として地域から信頼される生協をめざします。

1. 地球温暖化防止・環境対策について、役職員の主体的な行動で、前年度よりのエネルギーの総量削減に向け、取り組みを続けます。
2. 実際の業務と連動した、環境取り組み目標を設定し、日常業務での環境推進をはかります。
3. 効果的な環境マネジメントシステムの運用に向け、見直しを行い、継続的な改善をはかります。
4. 環境側面に関連する法令や、パルシステム山梨が受入れを決めたその他の要求事項を遵守し、事業活動をすすめます。
5. 地域の市民団体・行政・企業やパルシステム連合会などと連携を深め、環境に対する意識向上に努めます。
6. 上記の活動を推進するため、役職員一人一人への教育・情報共有をすすめます。

この環境方針は、生活協同組合パルシステム山梨内外に公開します。

2014年5月15日
生活協同組合パルシステム山梨
専務理事 志村 宏司